

# Edge2 3D Reconstruction 仕様書

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社

Edge2 3D Reconstruction は Smart Construction Edge2 において動作する 3次元データ処理アプリケーションです。ドローン空撮画像と GNSS 情報を用いて、3次元点群生成及び AI ベースの不要物除去機能を提供します。

クラウドや外部 PC などを用いず、Edge2 本体の限られた計算リソースだけで高速に演算できるように最適化された現場完結型のソフトウェアです。

## 【Edge2 3D Reconstruction の特長】

- 超高密度点群モードで 280point/m<sup>2</sup> の点群生成可能\*
- Edge2 内での PPK 処理時(GCP 有/無によらず)：  
検証点における精度±50mm(X,Y,Z)以内
- RTK フライトデータの処理時(GCP 有/無によらず)：  
検証点における精度±50mm(X,Y,Z)以内
- 点群の出力フォーマット：LAS, TXT
- オルソ画像、DEM、DTM フォーマット：GeoTIFF
- 対応ドローン(2026年5月時点)：
  - DJI 製 Phantom 4 RTK、  
Mavic3 Enterprise、  
Matrice 300 RTK(カメラ Zenmuse P1 f=35mm)  
Matrice 350 RTK(カメラ Zenmuse P1 f=35mm)  
Matrice 400 RTK(カメラ Zenmuse P1 f=35mm)  
Matrice 4E
  - Skycatch 製 Explore1
  - エアロセンス製 エアロボ PPK(カメラ ソニー製 α 6100)

Note)

\*処理条件と最大処理面積：

画像サイズ 5472×3648pix

GSD 1cm

最大処理面積(オルソ生成なし) 10ha(写真約 1000 枚)

最大処理面積(オルソ画像生成あり) 5ha(写真約 500 枚)

以上